

## 実証実験の概要

### 1. 目的・概要

生成 AI を活用する際の安全性や利便性を向上するために開発した本基盤を活用し、社内情報を安全に LLM に連携し、適切な回答文を生成できるか検証します。本基盤を活用して、社内業務の DX を推進し、そこで得られたノウハウをもとに、お客さま対応業務など、より多くの業務への適用をめざします。また、今後法人のお客さまとともに、新たな付加価値サービスの創出に向けたユースケース検証を行います。

#### 【実証実験期間】

2023年8月21日(月)～2023年12月31日(日)

### 2. LLM 付加価値基盤の特徴

#### ① 投入したファイルのリファレンスを表示する機能

事前に用意された業務マニュアルなどの大量の文書を自然文で検索し、文書の該当箇所をリファレンスとして表示し、検索結果を返却する機能を提供。

#### ② 機微情報の外部送付フィルタリング機能

パーソナルデータなど企業としての LLM への入力が好ましくないデータをチェックし、流出を防止するフィルタリング機能を提供予定。

#### ③ 差別・暴力等の不適切回答のフィルタリング機能

LLM からの出力内容をチェックし、差別・暴力表現や社会規範に反する表現など、企業として不適切な回答を低減するフィルタリング機能を提供予定。

### 3. 各社の役割

NTT ドコモ	<ul style="list-style-type: none"><li>・実証実験の総括および LLM 付加価値基盤の開発</li><li>・ LLM 付加価値基盤の活用による社内業務効率化の検証</li><li>・ドコモのビックデータや AI 技術を組み合わせた付加価値サービスの検討</li></ul>
NTT コミュニケーションズ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ LLM 付加価値基盤の活用による社内業務効率化の検証</li><li>・法人のお客さまのユースケース抽出とお客さま PoC の推進</li><li>・実証実験で得たノウハウをもとに法人のお客さま向けのソリューションの検討</li></ul>
NTT コムウェア	<ul style="list-style-type: none"><li>・ LLM 付加価値基盤の活用による社内業務効率化の検証</li></ul>